

加古川市の水道事業

加古川市水道事業は、昭和26年2月に創設認可（計画給水人口：30,000人、計画一日最大給水量：5,400m³/日）を受けて、昭和28年に給水を開始しました。現在の計画給水人口は265,000人、計画一日最大給水量は111,500m³/日です。平成30年度末の水道普及率は99.4%となっており、給水予定区域は概ね整備が完了しています。

水道施設の紹介

① 取水口（表流水）

中西条浄水場では、加古川大堰から加古川の表流水を取り水しています。



加古川大堰

② 取水井（地下水）

中西条浄水場では、浄水場敷地内に3カ所の取水井があります。表流水とともに浄水処理を行っています。



取水井(中西条浄水場)

③ 浄水場

中西条浄水場では、取水した表流水と敷地内で取水した地下水などを急速ろ過方式により浄水処理をしています。また、県営水道の水道水についても、兵庫県企業庁から委託を受けて、浄水処理を行っています。



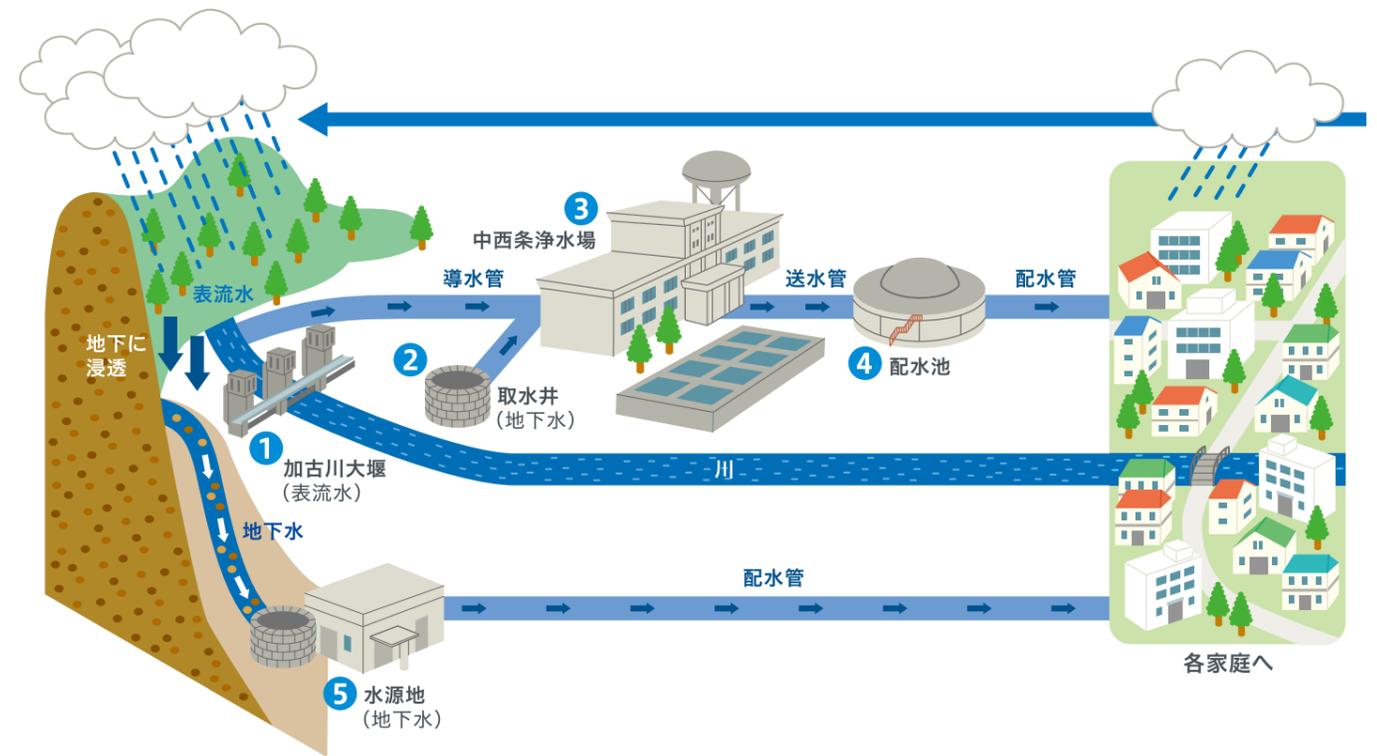
中西条浄水場

④ 配水池

中西条浄水場や各水源地で浄水処理した水は、配水池から各家庭や事業所に配水しています。



城山配水池



基幹管路の更新・耐震化

Pick up

加古川市では、昭和40年代から60年代にかけて整備した水道管が法定耐用年数の40年を超えてきており、今後水道管の老朽化が急速に進行します。特に基幹管路は地震などで破損した場合、市民生活に多大な影響を与える恐れがあります。そのため、老朽化した水道管は早急に更新し、耐震化を進める必要があることから、平成30年度に「老朽管更新(耐震化)計画」を策定し、計画的に管路更新を進めています。

⑤ 水源地

加古川市内には5カ所の水源地があります。神野水源地では、取水した地下水を中西条浄水場に送水し、浄水処理しています。神野水源地以外の4カ所(中津水源地、大野水源地、東神吉水源地、西部水源地)では、地下水をその場で浄水処理しています。



東神吉水源地

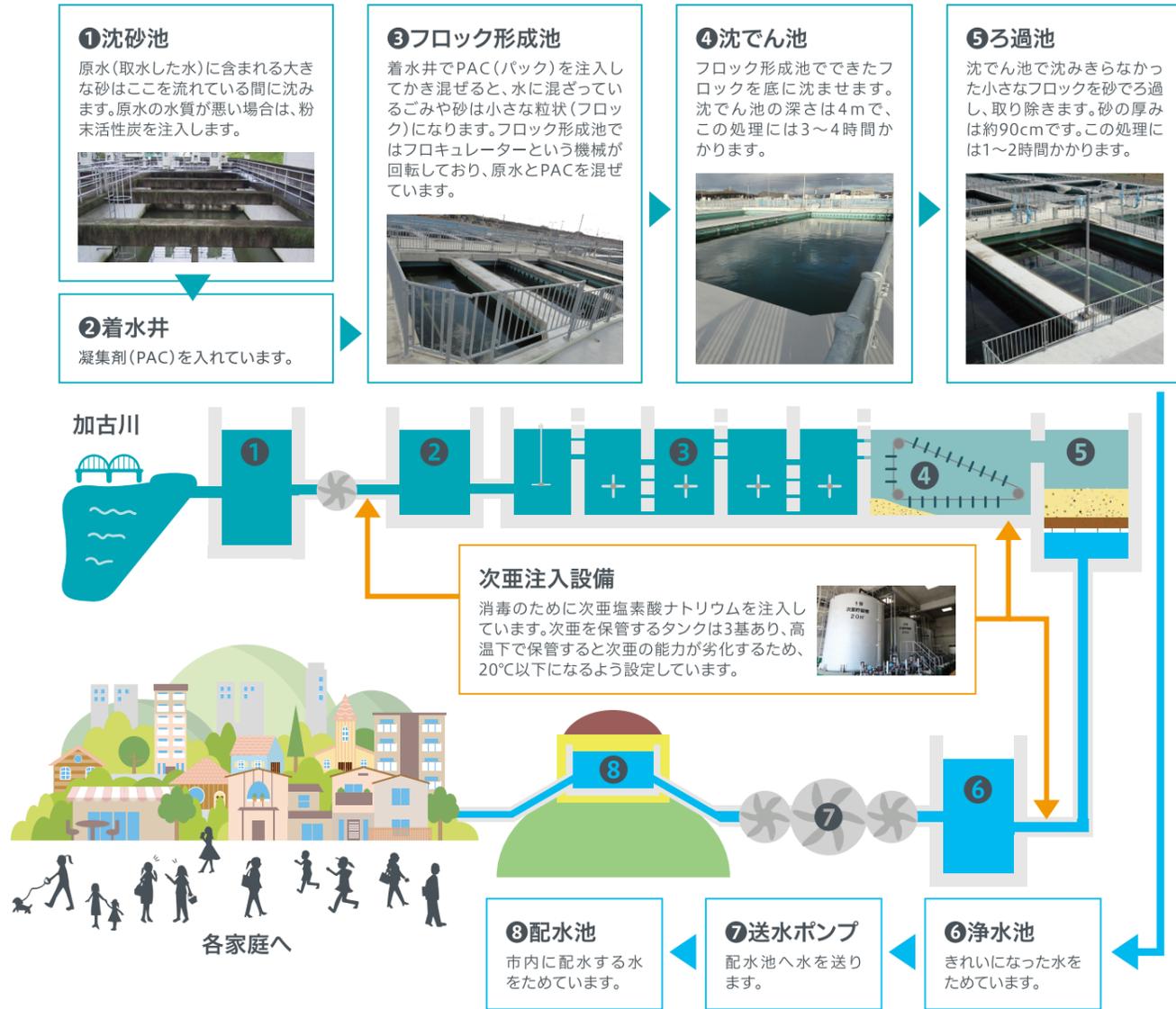


水道管布設替工事

中西条浄水場

中西条浄水場の概要 【所在地】加古川市八幡町中西条739番地
 【最大給水能力】93,700m³/日 【水源】表流水(加古川大堰)・地下水(浅井戸)
 【設備】①取水施設/取水井・沈砂池・取水ポンプ設備 ②浄水施設/薬品注入設備・着水井・フロック形成池・沈でん池・急速ろ過池 ③送水施設/浄水池・送水ポンプ設備 ④沈泥処理施設/汚泥槽・濃縮槽・機械脱水機・天日乾燥機 ⑤自家発電施設/発電機設備 ⑥運転管理施設/中央監視設備・受電設備・水質監視設備 等

水道水が安全であることは、水道の最も基本的な要素です。水源から蛇口に至るまでの過程における、安全な水の供給を確実にする水道システムを構築することによって、安全・安心な水を供給するとともに、より上質でおいしい水道水となるよう品質の向上に努めています。



水道水の安全管理

Pick up

お客さまに水道水をお届けする前に、浄水処理された水が水質基準を満たすかどうか、厳しく検査しています。水質検査は、原水及び蛇口での水質基準、検査項目と検査回数を定めており、日々検査を実施して安全性を確認しています。

水質監視機器

浄水処理の段階ごとの濁度、残留塩素濃度及びpHなどを機械によって24時間連続監視しており、異常があればすぐに検出することができます。



給水モニター

各配水区の末端に給水モニターを設置し、濁度、色度及び残留塩素濃度を測定、監視をしています。測定したデータをもとに水道水の水質を常に管理しています。



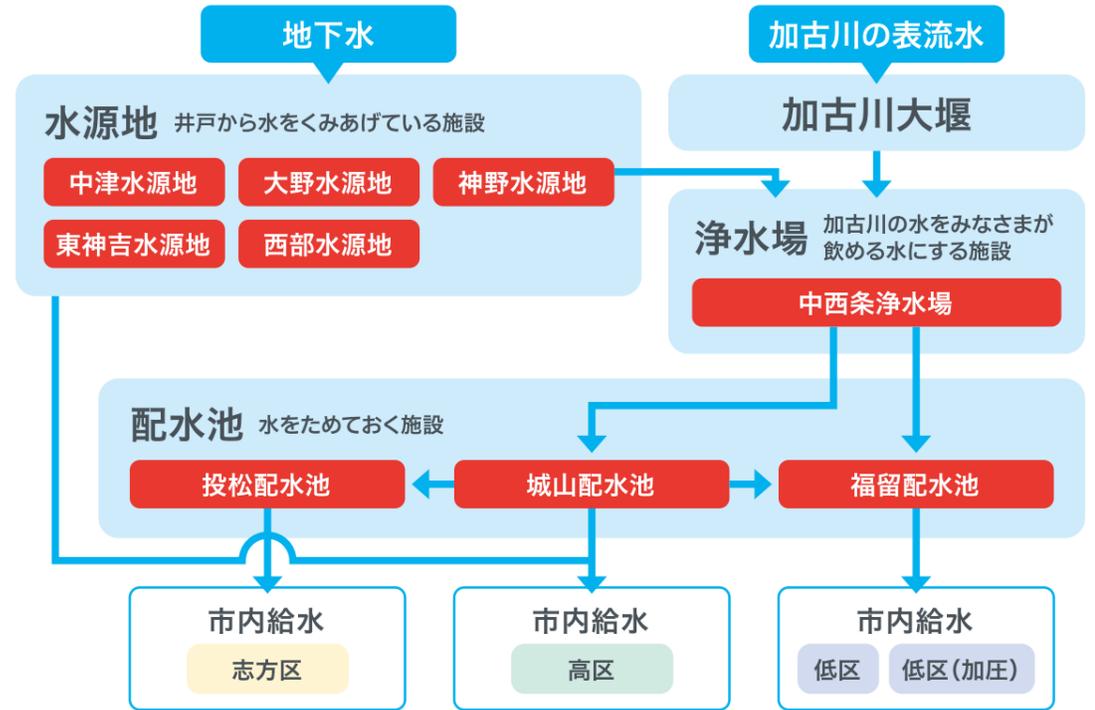
水質試験室

水道水が水質基準を満たすかどうか、厳しく検査しています。検査項目は水道法によって定められています。



配水系統

加古川市の水道施設は、浄水場(表流水)1カ所、水源地(地下水)5カ所、配水池9カ所、導・送・配水管延長約1,100kmとなっており、平坦な地形の中、自然流下だけでなく加圧ポンプ場などを設置し、市内3カ所の配水区(高区、低区、志方区)へ給水しています。



水道施設マップ



中津水源地



大野水源地